

2014年7月:JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項 目	記 載 内 容
単行本		
1	著者名	小島 肇
	書名	化粧品・医薬部外品 安全性評価試験法
	出版社名, 発行地, 年号, ページ	株式会社じほう, 東京 (2014)pp1-138
	掲載内容	化粧品および医薬部外品の安全性評価試験法の留意点について, 動物実験代替法の最新の動向も加えながら解説した.
国内学会		
1	発表者名	小島 肇
	演題名	シンポジウム” <i>in vitro</i> 毒性試験としてのiPS細胞利用の有用性と留意点”序論
	学会名, 発表年月及び場所	第41回日本毒性学会学術年会 (2014.7.2-4) (神戸)
2	発表者名	岩瀬裕美子 ^{*1} , 細井一弘 ^{*2} , 尾上誠良 ^{*3} , 若栗忍 ^{*4} , 山本敏誠 ^{*1} , 川上哲 ^{*5} , 松本康浩 ^{*6} , 戸田嗣人 ^{*7} , 大崎尚人 ^{*8} , 高木広憲 ^{*8} , 中村和市 ^{*4} , 小島肇
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	^{*1} 田辺三菱製薬(株), ^{*2} 参天製薬(株), ^{*3} 静岡県立大学大学院薬学研究科, ^{*4} (一財)食品薬品安全センター, ^{*5} 旭化成ファーマ(株), ^{*6} あすか製薬(株), ^{*7} 塩野義製薬(株), ^{*8} 大正製薬(株)
	演題名	ReactiveOxygen Species (ROS) アッセイ他施設バリデーション: 総括と推奨プロトコール
	学会名, 発表年月及び場所	第41回日本毒性学会学術年会 (2014.7.2-4) (神戸)

3	発表者名	伊藤浩太 ^{*1} , 榊原隆史 ^{*1} , 六川潤美 ^{*1} , 古川正敏 ^{*1} , 佐々木啓 ^{*1} , 平賀 武夫 ^{*2} , 小島 肇, 松浦正男 ^{*1}
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	^{*1} (株)化合物安全性研究所, ^{*2} 酪農学園大学 獣医学
	演題名	牛角膜を用いた混濁度度および透過性試験法(BCOP法)による化粧品・医薬部外品の眼刺激性の検討
	学会名, 発表年月及び場所	第41回日本毒性学会学術年会(2014.7.2-4)(神戸)
4	発表者名	山口宏之 ^{*1,2} , 小島 肇, 竹澤俊明 ^{*1}
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	^{*1} 農業生物資源研究所, ^{*2} 関東化学株式会社
	演題名	Vitlige-EIT法: 経上皮電気抵抗値を指標とした高感度な <i>in vitro</i> 眼刺激性試験法
	学会名, 発表年月及び場所	第41回日本毒性学会学術年会(2014.7.2-4)(神戸)
5	発表者名	小島 肇
	演題名	動物実験代替法を用いた安全性評価とその問題点
	学会名, 発表年月及び場所	第3回加計学園コスメティックサイエンスシンポジウム(2014.7.12)(千葉)